

リーダーの手引き

～グループの役員になったら～



ボランティアグループでの活動には、「活動の特性や心得」の他にも「グループの運営方法」についての視点や知識が必要です。ボランティア精神を大切にしつつ、継続的に活動を続けていくためにはどのようなことが大切かをまとめてみました。

グループ運営に大切なさまざまな基本を紹介します。
計画的に無理なく、楽しく活動しましょう！

第1章 グループ運営の基本

① 活動の目的・趣旨・想いを明確にし、誰にでも話せるようになりましょう！

チェック

ボランティア活動には必ず目的があります。

「困っている人のために、こんなことをしたい」という想いやグループが大切にしていけることをはっきりさせ、役員だけでなくメンバー全員が話せるようにグループ内で共有しましょう。



② 活動の方針・方向性・段取りを考えましょう！

チェック

会の運営を、どのようにしていくべきなのか。また、どうしたいのかを考えましょう。

活動の『規模・人数・活動内容・財政状況・ノウハウ・自信・魅力・誇り・こだわり・他のグループとの違い』などを他の役員と共有して、グループの運営方針や運営方法、グループの方向性を決定しましょう。迷った時の判断のポイントは『より目標達成に必要な方を選択して決める』ことです。



③ ノウハウの蓄積を大切に！

チェック

困難な状況にあるとき、周囲から認められたとき、方向性を考えるときに役立ちます。

知識・経験・技術などの積み重ねを、客観的に見るのが非常に重要になってきます。

ノウハウを生かして新たな課題に取り組んでみたり、他の団体に提供したりすることもできます。これらの積み重ねは、グループの歴史でもあり、財産でもあります。

活動を記録し・整理して、管理しておきましょう。

活動に役立つお得な情報、メンバーのためになる話は、記録して全員で共有しましょう。



④ 人間関係を大切に！

チェック

何をするにも仲間の力がなければ成し遂げられません。

いわずもがな、一番重要なことは、仲間同士や関係者との信頼関係です。

メンバーの性格や事情をよく把握しておくことは、判断力を上げるポイントになります。

また、外部に悩み相談をしたり、苦労話を聞いてもらえるような横のつながりを持っておきましょう。「ボランティア連絡会」や「地区ボランティア連絡会」は、情報交換の場としてきっと役に立つと思います。

⑤ グループの存続のために！

チェック

大きなトラブルが起きた際は、まずはグループ、次にメンバーを守ることを考えましょう。

グループやメンバーを守るためには、厳しいことを言わなければならない時もあり、自分の考えとは逆のことをしなければならないこともあります。

役員が協力をして、グループにとって公平な判断を心がけましょう。

第2章 環境整備・人材の育成

① 楽しむことを忘れずに。(満足感)

チェック

メンバーが楽しく活動できる環境をつくり、提供することが役員の最大の役割です。役員自身も楽しみながら役割をこなしていきましょう。楽しく活動に参加できる理由をたくさん探しましょう。



② 役割分担で達成感アップ!(達成感・充実感)

チェック

一人ひとりにあった役割、その人にあった参加の仕方を相談できる環境を作りましょう。活動に必要な役割を明確化、具体化、細分化し、だれでも参加しやすい状態にしておきましょう。適度な役割分担は責任感を与え、本人の自主的な参加・達成感・充実感につながります。

③ 様々な協力のカタチ。(信頼感)

チェック

『お金、場所、もの』などの部分的な協力も、活動の理解者・賛同者として積極的に取り込んでいきましょう。また、寄付等を受けたら、どのように活用したか報告を忘れないようにすることで、より信頼性が高まります。

また、活動を見てもらったり自らPRする等、積極的にアピールすることが重要です。



④ 見えない壁を取り除く。(信頼感)

チェック

初心者、ベテランに関わらず、お互いを尊重し合い、なおかつ全員が意見をだせるような雰囲気意識して作りましょう。個々の意見を出しやすくすることで、独断的な運営を回避し、役員とメンバーとの役割や関係性を明確にすることができます。

また、役員は進んでメンバーの仲介や代理を務めましょう。メンバー同士の気持ちの壁を取り除き、グループ内で話しやすい人が増えれば、次の活動にも参加しやすくなります。



⑤ 連帯感を高める。(連帯感)

チェック

活動の歴史やストーリー、活動中のハプニング・逸話・武勇伝などのエピソードをみんなが共有し、大切にしていくことで、メンバーの仲間意識が強くなっていきます。専門用語やグループだけの特殊な言葉なども使って、連帯感を高めましょう。

⑥ 外部からの信頼を得る。(責任感・緊張感)

チェック

活動先の人たちや協力者からの信頼関係を得ることも重要です。(施設職員、利用者、地域住民、活動のキーとなる人など)
活動先の人たちや協力者との信頼関係は、「期待にこたえたい」という想いにつながり、責任感を持って活動することができるようになります。

